「平和と人権」市民ネットワーク情報 №22-10（通算 90 号）
事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　　2022.10/04

9/17「テレビで会えない芸人」上映会、９０名集う

◆2020 年 5 月に「主戦場」上映会を企画しましたが、目前になってコロナ感染が急拡大し上映を断念しました。それだけに今回は何としても上映会開催にこぎつけたい、というのが実行委員一同の思いでした。そのために、どんな感染対策をしたらいいか。結論は来場者数を増やさない、というものです。「ひぐらし」の定員は 204 席。その半分の 100 席を目途に集客を行う。伊豆新聞への告知依頼を行わない、東京新聞のチラシ折り込みもしない。中止の場合、代金を返却できるようフェイス・ツウ・フェイスでチケットを買ってもらう、などです。たくさんの人に来てほしいが、会場が密になるのも避けたい、という苦肉の策でした。当日、会場には主催者が想定した範囲の 90 名(中・高生を含めて)の来場者がありました。おかげで、収支はわずかながら黒字を計上しました。台風接近が報じられるなか、多くの方に足を運んでもらい感謝の一言です。ありがとうございました。

◆映画の感想は、後掲のアンケート回答一覧で紹介しました。松本ヒロさんの信念を貫くぶれない生き方に多くの人が共感と尊敬の言葉を述べています。***「最後の言葉が良かった。空気を読むのではなく、おかしな空気を批判する、抗うことも必要ということ、少数派を励ましていただきました。」***

松本ヒロさんをお呼びする希望を伺ったところ、回答者 **26 人のうち 24 人の方が希望する**、と答えていました。伊東で、是非*実物*を見たいですね。このアンケート結果も紹介しながら、湯の町・伊東へおいで下さるようお願いしてみます。

◆映画上映が終わった後、来場者の方に主催した市民ネットワークと市民アクションへのカンパをお願いしました。毎月のスタンディング行動に警察から道路使用許可申請を要求され、2,300 円の出費を強いられることになった、など窮状を訴えたところ、何と **48,594 円**の浄財が寄せられました。こんなにたくさんのお金をいただいていいものか!!それに見合う活動ができるだろうか。感謝しながら同時に責任の重さを痛感しました。とはいえ、素人集団がやれることは限られています。これまで通り、無理しないで、できる範囲のことを一歩一歩やっていくしかありません。皆様の力添えをお願いする次第です。

2022.9.17 「テレビで会えない芸人」上映会

アンケートの回答一覧

Q1　映画を見ての感想

①面白かった。

②正しいと思ったことを貫く姿は素晴らしく、自分も少しでも(難しいですが)意見をしっかり持って、態度で表わしたいです。

③素晴らしい生き方を貫いていますね。今後もご活躍を祈っています。

④歯に衣を着せぬ、を体現していて、その生き方の裏側を見られて良かった。

⑤最後の言葉が良かった。空気を読むのではなく、おかしな空気を批判する、抗うことも必要ということ、少数派を励ましていただきました。

⑥とても良かったです。今後も松本さんのご活躍を応援しています。また是非！

⑦憲法を守っていくことや、思っていることを発言していくことの重要さを理解できたし、興味を持つきっかけになりました。ありがとうございました。

⑧映画を見て初めて松本ヒロさんを知ることが出来て良かった。政治について意見を言うことが大切だということが分かった。

⑨上映会に来て良かったです。学ぶことがたくさんありました。

⑩おもしろかったです。

⑪とても感動しました。

⑫黙っていたら流されてしまう感じでいます。こわい世の中になってきています。

⑬とてもおもしろかった。

⑭実施してもらって嬉しい。伊東では難しいと思っていたので。

⑮かねてから見たいと思っていた映画でした。すっきりしました。

⑯久しぶりに笑いました。涙もあり充実した時間でした。主催者の皆様ご苦労様でした。憲法前文をしゃべるくだり、すごい！！

⑰もっと主張を出して良いのではないか。

⑱ブレない姿勢に勇気をもらえます。

⑲とても良かった。人がたくさん来ると思っていたが、意外に少なくてびっくり。テレビで会えないのだから、こういう機会に見ればいいのに。

⑳鹿児島に 50 年振りに帰ったとのこと、ちょっとびっくりしました。今 69~70 歳で、高校卒業から…初めて！

㉑面白かった。楽しく伝えるのは良いですね。

㉒いいたいことをはっきり言える松本ヒロさん羨ましい限りです。楽しかったです。

㉓とても良かったです。

㉔水をさす側の人でいたい。

㉕予想通りおもしろかったです。一人一人の勇気も試されています。

㉖生で見たい！

Q2　松本ヒロさんの伊東での舞台を希望しますか。

A 希望する	…	24/26 人	(92%)
B 料金次第	…	2/26 人	(8%)
C 特には望まない	…	0/26 人	(0%)

Q3　実施したい映画会や講演、学習会。提案したい活動など。

①憲法の勉強会

②「わが青春つきるとも」(伊藤千代子)

③ロシアの軍事行動非難の声をあげなければ…

④富山チューリップ放送局の作成した映画「ハリボテ」

『国葬反対！』雨のなか、40名で声あげる

◆9 月 19 日に安倍国葬と軍事大国化に反対する集会とデモ行進を予定しました。が、台風 14 号による荒天のため中止し、代替として 9 月 23 日に松川公園で集会のみを実施しました。この日も雨でした。開会を前に伊東警察の署員が、「許可のない集会は条例違反だ」と中止を求めてきました。「なぜ許可が必要か」「条例で決まっている」「許可申請は日程的に不可能」「ならば、やらなければいい」「集会の自由がある」。そんな押し問答が続くなか、雨を衝いて次々に人が集まってきました。今さら中止にはできない。結局、マイクを使わない内輪の集まりとすることで、了解が付きました。こうして、戸田弘子さんの司会のもと、ふれあいセンターの軒先に集まった 40 名の人たちでマイク無しの「国葬反対集会」を行いました。参加された方々には余計な心配と不便をおかけしました。申し訳ありません。「集会」後は多くの人がアーケードで、署名やハンドティッシュ配りを行いました。署名筆数は少なくても、それ以上に大切なものを得た 23 日の行動だったと思いました。
以下、古川宣子さんのスピーチと集会決議文の一部を紹介します。

古川宣子さんのスピーチ

＜ 命に序列をつける国葬＞

古川さん

皆さんこんにちは。安倍元首相の国葬が 27 日に迫っております。各地で、6 割を超える圧倒的多数の国民が反対の声をあげています。私たちも伊東の地から連帯の意を表したいと思います。……

今般、岸田首相が法的根拠を示さないまま、国葬を強行できるのはなぜでしょう。一つに、法の番人である「内閣法制局」の骨抜きが挙げられます。2014 年、時の総理大臣安倍氏が「内閣人事局」を新たに設置し霞ケ関の力を弱体化させたからです。

憲法では思想信条の自由は勿論の事、１９条では内心の自由をも保障しています。例え国会で決議されても、国民の同意なしに国葬を行うことはできません。当然安倍氏の葬儀は、内閣・自民党葬にすべきなのです。

私たちは今、物価の高騰や福祉の切り捨てを始めとする、数えきれないほどの困難にさらされています。そこに血税を惜しみなく使うことは許されません。その予算は 2 億 5 千万円から 16 億円超にまで膨れあがり、ちまたでは 70 億、イヤ 100 億とまでささやかれています。

憲法では法の下の平等を保障しています。国葬は「命に序列を下す」その最たるものと考えます。

時の権力はしたたかに周到に…旧統一協会をも利用して、国民主権の現憲法を、国家という権力を思うままに行使できる憲法へと改悪しようと躍起なのです。

浦島さんと古川さん

しかし今、私たちは内閣支持率を 29%にまで下げ、国葬反対 70%の世論を一歩一歩作ってきました。大きな力です。すごいです。引き続き声をあげて頑張っていきましょう。

安倍元首相の国葬中止を求める決議

安倍元首相の国葬中止を求める国民の声は日を追って強まっています。「日本国憲法」のもとで、「国葬」に関する法律が存在しないにも関わらず、政府は閣議決定で勝手に「国葬」の実施を決めました。「国葬」は国民に弔慰を強制するものであり、思想信条の自由を犯し、憲法違反であることは明白です。国民の強い批判にさらされ、必要経費も当初の 2,5 億円から、16、6 億円と発表するなど、批判をかわそうとしてきました。しかし、安倍元首相と旧統一教会との深い結びつきや、他にも数多くの自民党議員が旧統一教会と関わっていることが明らかになり、窮地に落ちいっています。岸田内閣の支持率も急降下しています。岸田首相は潔く「国葬」の中止を決意すべきです。

旧統一教会と自民党との癒着の実態が明らかになる中で、驚愕的な事実として、憲法 9 条改憲案、ジェンダー問題など、自民党の改憲草案の内容が旧統一教会の教えとそっくりだということです。自民党が選挙で支援を受けていたというような生やさしい関係ではなく、思想的に旧統一教会に侵されていたということになります。岸田首相が言っているような「旧統一教会との関係を全てたちきる」ことは困難なことではないでしょうか。

読み上げるY.Hさん

このような情勢のもとでも自民党は憲法改悪と大軍拡の企みをあきらめてはいません。今回の「国葬」問題や旧統一教会の問題で出鼻をくじかれたかっこうにはなっていますが、「国民はそのうち忘れる」という国民をなめきった態度に変わりはありません。

本日の集会に参加した私達は、安倍元首相の「国葬」に反対し、旧統一教会との関わりを全て公開することを要求します。憲法改悪と大軍拡を許さない闘いを推し進めることを決議します。

２０２２年９月２３日

国葬反対！軍事大国化 NO！集会参加者一同

23 日集会後の宣伝活動(キネマ通り)

27 日国葬当日、抗議のスタンディング

シリーズ ❷

わたしと憲法との出会い…

駒ケ根だより　　サイトウトシコさん

日本国憲法の第 12 条
この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。…

この条文を読むたびに、「give and take」の立脚点を目の当たりにする思いがする。どこまでも努力を惜しまず、前向きに生きることで行かされている喜びを過不足なく甘受できる。

この 12 条があればこそ、何らためらうことなく、勇気をもって自由と権利を屈託なく行使できていたと改めて思う。

（斎藤さん作の絵本）

個人としての責任を、みな等しく課され、国民の不断の努力を要すると明記されていることに着目した。

中学 1 年の頃、クラスメイトのわずかなミスを「これは連帯責任だ」と言い放った担任の言葉に大変驚いた。何を根拠にそのようになったかはすっかり忘れてしまったけれど、今思うに昭和 35 年(１９６０年)頃は、軍隊の名残がまだ生きていたのかもしれない。

今こそ戦争放棄　　松山正さん

私が「憲法」を学んだのは、大学に入学した年、一般教養の授業だった。それまでは意識したことも習ったこともなかった。その授業でも何を教わったか、何も覚えていない。「憲法と聞けば、脚がすぅーと冷える感じがするでしょう」と言われたバカなことしか覚えていない。「憲法」は「空気」だったのだ。

就職して自然と組合に入ったわけだが、先輩の中には「憲法」を持ち歩いていて、「強制労働はしない」と唱えている人がいた。私は今の職場より一歩でも良い学校を後の人達に伝えたいと考えて、立派な人達についていったことでした。

ところで、この頃はやはり前文の「戦争放棄」の大切さを感じない日はない。これまでどれだけの人、物、環境を無残にも犠牲にしてきたか。そして、消費される武器・弾薬を喜ぶ業者、政治家がいることか。日本もその路線を歩いている。仲良しグループだけ手を結んでも、世界は平和にならないのだ。

日本国民は恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。……われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。(憲法前文)

小林義明さんをしのぶ

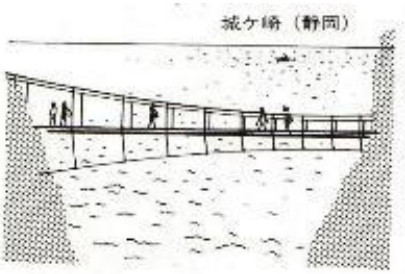
水野博之

去る８月３０日に小林義明さんが 88 年の生涯を閉じられました。世のため、人のために誠実でひたむきに活動された一生だったと思います。

私が最初に小林さんにお会いしたのは小田原から伊東に転居した 15 年ほど前に、共産党の赤旗祭りがあり、市委員会が募ったバスで参加した時でした。その日は、当時地域で活動していた竹安千秋さんが車で迎えに来てくれましたが、「もう一軒まわります」と車を向けた先が城ケ崎桜並木から少し入った家の前でした。玄関を出てトントンと足取り軽く階段を降りてきたのが小林義明さんでした。伊東駅前からのバス車内でも隣席でしたが、

その時は自己紹介や雑談で別れました。それからしばらくして私の家を訪ねてこられ、「城ケ崎サークルへ来てみませんか」と誘われたのでした。「城ケ崎サークル」は平和委員会が中心になって、毎月一回その時々の政治・経済・社会・地方自治などをテーマに学習する勉強会でした。学習会にはその分野の講師を呼んで講義を受けるわけですが、毎月一回とはいえ、講師をみつけるのには大変な苦労があったと思います。この点でも小林さんの交際の広さ、活動の多様さがよくわかります。城ケ崎サークルがこれほど長く続いたのもひとえに小林さんの努力のおかげと感謝しています。

その後も富戸の共産党後援会の立ち上げ、後援会紙『富戸の海』の発行、さらに「市民連合伊東」の結成へと、年齢を感じさせない精力的な活動は目を見張るものがありました。特筆は２０１９年２月２４日に行われた『富戸の海コンサート』でした。小林さんの知人を通してのソプラノ歌手をお呼びしてのコンサートでしたが、参加者の高い評価を得ました。



小林さんは長い間中学校の国語教師を務めていましたが、荒れた中学で有名だった東京都町田市立忠生中学校に在職中には、学校の正常化に向けて生徒・保護者・教員が一丸となって奮闘したことを感慨深く懐かしそうに話していたことが心に残っています。

小林さんが生涯を通じて貫かれた信念は平和な社会だったと思います。11 歳の時に敗戦を迎え、戦後の荒廃した日本の状況を体験して、何よりも平和であることを願い、庶民の暮らしの安寧を祈った、その為に日本国憲法を守り実現することに力を尽くされました。

小林さんが亡くなった今、私は落胆していますが、小林さんから受けた教えや指導を糧に微力ながらこれからも努力したいと決意をしています。

小林義明さん、長い間お疲れ様でした。感謝!感謝!です。心よりご冥福をお祈りします。

2022 年 9 月 19 日　記

お　知　ら　せ

①DVD **映画「2887 アベ政治を記憶する」視聴会**の案内

日時…第一回：10/6(木)午後２時～、第二回　：10/12(水)午後２時～

会場…伊東市児童・身体障害者福祉センター「はばたき」　※詳細は別紙チラシを参照

②通信１１月号は都合によりお休みします。